



西有田中学校だより
第1号 (2025.4.11)
文責：中尾恵子

至誠一貫

入学式の式辞（一部抜粋）

本日、78名の新入生の皆さんを迎え、希望に満ち溢れた新たな一歩を共に踏み出せることを心から喜んでいます。これから始まる中学校生活では、新しい友達、新しい先生、新しい学び、そして、新しい自分との出会いや期待と同時に、少しばかりの不安を感じていることでしょう。しかし、心配はいりません。先生方や先輩たちは、皆さんの入学を心待ちにしていました。

中学校は、皆さんの可能性を大きく広げる場所です。学習や部活動、様々な学校行事に挑戦して、自分自身の新たな一面を発見してください。

私から皆さんに贈る言葉は「**普段の努力**」と「**不断の努力**」です。

「普段の努力」とは、日々の授業や宿題、部活動の練習など、毎日の生活の中でコツコツと積み重ねる努力のことです。もうひとつの「不断の努力」とは、目標に向かって努力し続けることです。近年、社会は目まぐるしく変化し、AI技術の進化やグローバル化の進展、予測不能な自然災害など、私たちを取り巻く環境は、大きく変わろうとしています。そのような時代を生き抜くためには、常に学び続け、変化に対応できる柔軟性が必要です。現在、アメリカのメジャーリーグで活躍している大谷翔平選手は、才能だけでなく、日々の練習を怠らない「普段の努力」と常に高みを目指す「不断の努力」によって世界を舞台に活躍しています。

日々の授業に真剣に取り組み、宿題を丁寧にこなし、部活動で汗を流す。そのような毎日の積み重ねが大きな成長へとつながります。中学校生活は、楽しいことばかりではありません。時には困難にぶつかり、挫折を味わうこと

もあります。そんな時にこそ「普段の努力」と「不断の努力」を思い出し、諦めずに努力し続ければ必ず道は開けます。

本校校訓は「至誠一貫 自ら進んで学業に励み もって 国家社会に有用な人間となれ」です。この言葉を胸に、仲間と切磋琢磨し、互いに高め合いながら充実した中学校生活を送ってください。

学年担任制について

現在の学校現場は、様々な課題を抱えています。その中に「退職者増加に伴う量及び質の確保」が挙げられ、教員の年齢構成は急速な若返りと50歳代の二極化の構成となっています。文部科学省は「量及び質の両面から、優れた教員を養成・確保することが重要な課題」であるとしています。このことから、今年度から本校では学年担任制を導入しました。昨年度までは、常時、複数の教員が担当する複数担任制でした。詳細については、25日のPTA総会にて説明させていただきます。

校長の中尾 恵子です。地元有田町での勤務となり、美しい自然と温かい人々に囲まれた西有田中学校での勤務を大変嬉しく思っています。赴任式では、子どもたちの素敵な笑顔で迎えていただきました。また、大きな声での挨拶にも元気をいただきました。

これから西有田中学校のために、先生方と一緒に頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。また、保護者様との交流の場として、学校だよりにも、返信欄を付けています。御質問や御意見等、お気軽にお寄せください。